

# Allbirds 2021 Sustainability Report

2021年  
サステナビリティレポート

*allbirds*

# 私たちのビジネスの最優先事項

私たちは2つの目標を掲げています。

ひとつ目は、2025年までに全製品のカーボンフットプリントを半減すること。

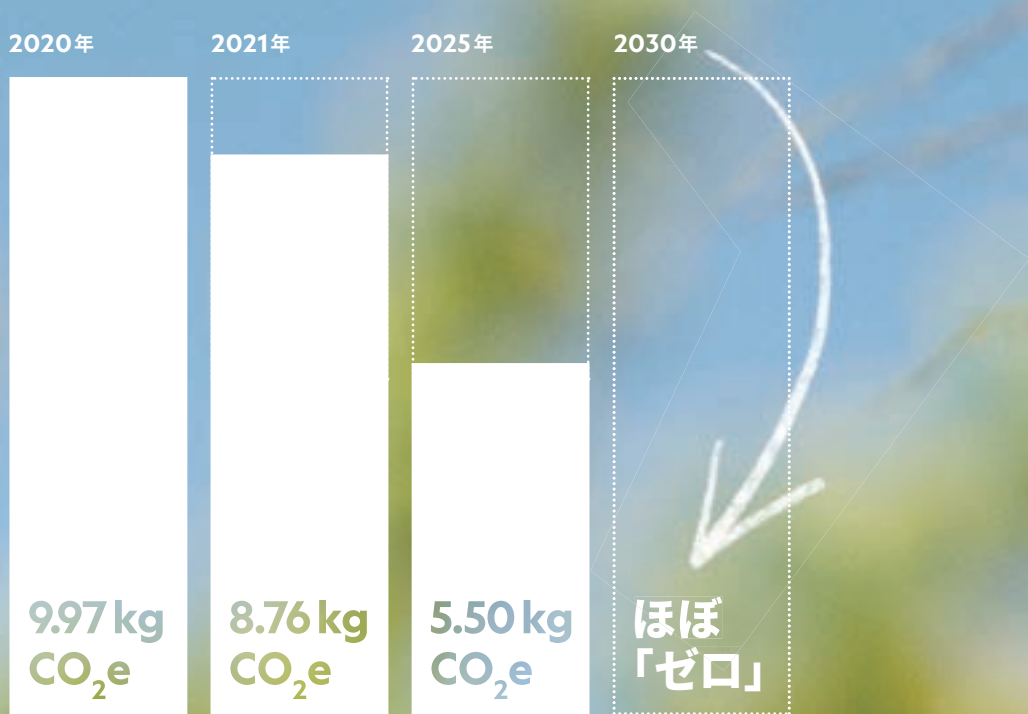
ふたつ目は、2030年までに全製品のカーボンフットプリントをほぼ「ゼロ」に減らすことです。

そして実際に、2021年には、カーボンフットプリントを1.21kgCO<sub>2</sub>e、前年比で12%減らすことに成功しました。

この削減は環境的責任のあるエネルギー使用(98%)と再生可能素材(2%)による貢献です。

2025年の目標に対して順調に進捗しています。

# チャートで理解する:



これらの測定値は、企業活動(店舗、オフィス、従業員の移動等)を除いた、平均的な製品のカーボンフットプリントです。

2030年までに全製品の平均のカーボンフットプリントを1.0KgCO<sub>2</sub>e以下にします。

**Allbirds  
owes you  
nothing.**

**目標は「ゼロ」**

**2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT**

# オールバーズは 「ゼロ」を目指します。

オールバーズは2020年にサステナビリティレポートを発表し、重要な目標を宣言しました。2025年末までに私たちのカーボンフットプリントを半減させ、2030年には限りなく「ゼロ」という数値を達成すること。オールバーズにとって「ゼロ」とは全てであり、私たちの社会に対する使命なのです。

ミッションは順調に進んでいます。一年で目標の約25%の削減を実現しました。2021年には前年比で全製品の平均カーボンフットプリントを12%減らすことができました。少ない数値と感じるかもしれませんが、小さなステップを積み重ねてこそ、大きな目標を達成できると信じています。

スケールの大きい目標を掲げても実現性と実行性がなければ机上の空論となってしまいます。100ページもの情報が詰まった分厚い資料をリリースしても、多くの人にそれを読んでもらうことは難しいでしょう。良かれという思いがあっても、ためにならなければ効果はそれこそ悪い意味での「ゼロ」となってしまいます。

*allbirds*

オールバーズはシンプルな目標設定と、進捗報告を目指しています。そして私たちには目標と進捗をつなぐシンプルな共通点があります。

重要な役割を担うのが、カーボンフットプリントラベルです。オールバーズが「ゼロ」を達成するまでの進捗を分かりやすく示す、大切な数値です。各製品に表示されているこの数値を見れば、私たちの進捗状況を知ることができます。オールバーズの目標はこの数値を「ゼロ」にすることです。



# 2025年末までに カーボンフットプリントを 半減させます。

## ベースライン



特に制約をせずに  
2025年まで活動した場合

## フライトプランでの目標値



計画通りに  
2025年まで活動した場合



The proof  
is in the  
footprint.

カーボンフットプリント

2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT

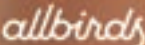

# カーボンフットプリントで 証明します。



私たちの目標は、今よりもこの地球を良い状態にすること。そのために「ビジネスの力で気候変動を逆転させる」というパーパスの元で活動しています。その第一歩が私たちのカーボンフットプリントを「ゼロ」にすることなのです。

この目標は、簡単なものではありません。しかし、地球と私たちの未来のために取り組まなくてはならない目標なのです。

製品を大量生産するとカーボンフットプリントがどんどん増加します。生産される製品、サプライチェーン、ビジネス全体のカーボンフットプリントを計測して表示するのは大変な作業です。カーボンフットプリントは環境負荷の指標であり、いわば食品のカロリー表示のようなものです。ダイエットと同じく、自分の体重を測らないと減らすことはできません。

	カーボンフットプリント : WOOL RUNNER		
	MATERIALS (素材)	5.89 KG CO2E	
	MANUFACTURING (製造)	0.92 KG CO2E	
	TRANSPORTATION (輸送)	1.89 KG CO2E	
	USE (洗濯)	0.05 KG CO2E	
	END OF LIFE (廃棄)	0.73 KG CO2E	
	TOTAL (総量)	9.48 KG CO2E	



2020年にカーボンフットプリント計測方法をオープンソースにし、同年の全製品の平均カーボンフットプリントは9.97kgCO<sub>2</sub>eでした。2021年は8.76kgCO<sub>2</sub>eと、前年比12%減に成功。2025年には5.5kgCO<sub>2</sub>e、2030年にはほぼ「ゼロ」にまで減らすことが目標です。

複雑な説明はさておき、私たちはこの数値を「ゼロ」にするために日々試行錯誤を重ねて、前進しています。

そのために、次の3つの主要分野に重点を置いています：再生型農業、再生可能な素材、そして環境的責任のあるエネルギー。

9.97 kg CO<sub>2</sub>e

2020年

8.76 kg CO<sub>2</sub>e

2021年

5.50 kg CO<sub>2</sub>e

2025年

ほぼ「ゼロ」

2030年



# Regenerative Agriculture

再生型農業

2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT

# 再生型農業

## カーボンを減らす農業への転換

オールバーズは私たちの産業において天然素材をスポットライトをあて、化石燃料を無くすことを目指しています。この達成を手助けしてくれる大切なパートナーが羊です。可愛らしくて手触りの良い彼らを育てるには広大な土地が必要です。そしてその土地を正しく活用すれば気候変動を逆転させる手段にもなり得るのです。

## 2025年の目標

- 再生型農業で育てられた羊のウール素材を100%調達する
- ウールのCO<sub>2</sub>換算排出量/年を100%削減もしくは除去

## 2021年の進捗

再生型農業によるカーボンフットプリント削減は、目標値の-1.21kgCO<sub>2</sub>eに対して、0.00kg CO<sub>2</sub>e、残念ながら0%の進捗率でした。



**達成事項：****再生型農業によるウールの展開**

オールバーズは2021年に自社契約のウールファームである、ニュージーランドのTemple Peak Stationの牧羊地におけるカーボンフットプリントについて調査を行い、過去40年間に60,500トンのCO<sub>2</sub>を除去できていたことが判明しました。これは40%超のカーボンフットプリント減に相当します。彼らは私たちのミッションにとって大きなポテンシャルを秘めているパートナーです。2021年に再生型農業で育てられたウールの帽子やマフラーをリリースし、従来製品と比較してカーボンフットプリントが12%-16%少ない数値となりました。

**ZQRxフレームワーク**

2020年は期待以上の結果でした。業界をリードするブランドや研究者、サプライヤー、そして生産者と共に、再生型農業ウールについての会合をニュージーランドで開きました。サプライチェーンパートナーたち(ニュージーランドメリノ)やSmartwool、IcebreakerといったトップウールブランドとZQRxフレームワークを立ち上げました。499の農業従事者が参加し、ニュージーランドの農地の15%(200万ha)が再生型農業の道を歩み始めることになりました。

**主要課題：****目に見える結果**

ポジティブな変化には時間が必要です。2021年において再生型農業の排出量削減に対する効果が0.0kgCO<sub>2</sub>eだったのは、私たちの始めた取り組みの結果がまだ実っていないからです。計測法の確立にも時間をもう少し要するでしょう。さらに樹木の植生や土壌の改善には何年もかかります。結果が出るまで辛抱が必要な状況です。



# Renewable Materials



再生可能な素材

2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT

# 再生可能な素材

## 石油由来の素材から 天然素材へ



私たちの業界で使用される素材の約60%が合成素材であるというのが現状です。その多くが石油由来であり、気候変動加速の大きな要因となっています。“ビジネスの力で気候変動を逆転させる”ために、オールバーズは再生可能な素材に重点を置きます。

## 2025年の目標

- 使用素材の75%を天然かリサイクル素材にする
- 主要原材料のカーボンフットプリントを25%減らす
- 原料素材を25%減らす
- 製品寿命を倍にする

## 2021年の進捗

再生可能な素材によるカーボンフットプリント削減は、目標値の-1.21kgCO<sub>2</sub>eに対して、0.02kgCO<sub>2</sub>e、2%の進捗率でした。



**達成事項：****Tree Dasher2の発売**

2021年発売のTree Dasher2のミッドソールは、初期モデルに比べて21%軽くなり、ウールライニングを少なくしたことによってカーボンフットプリントは5%削減しました。

**プラントレザーへの投資を開始**

従来の革素材にとっかわるサステナブルな素材、MIRUM®プラントレザーをNFW社と共同開発し、フットウェアに初導入します。ゴムや植物性オイルなどの天然素材、米もみ殻や柑橘類の皮などの農業副産物で作る100%ヴィーガン素材で、石油由来素材を一切使用しません。天然皮革に比べ約88%、人工皮革に比べ75%もカーボンフットプリントを削減することができます。

**FUTURECRAFT. FOOTPRINTの発売**

アディダスとのコラボレーションでは、一般的なランニングシューズのカーボンフットプリント14.1kgCO<sub>2</sub>eを下回る、2.94kgCO<sub>2</sub>eを実現しました。天然・リサイクル素材を使い、素材をパズルのように組み合わせた「タングラム」の原理を応用したり、パーツ数を抑えるためにステッチを補強材として使用したりしました。

**主要課題：****天然素材によるイノベーション**

天然素材のみで、製品のパフォーマンスや耐久性を維持することは容易ではありません。事実として、天然素材は合成素材ほど長持ちしません。耐久性を上げる場合は、リサイクルされた合成素材を使用します。同時に天然素材のパフォーマンスを高めるための研究を続けています。

**耐久性**

ひとつのものを長く使うことも立派なサステナビリティです。シューズの寿命は使い方によって大きく変わります。私たちは研究所での調査やユーザーデータを用いて、耐久性について詳しい理解を努めています。



# Responsible Energy

環境的責任のあるエネルギー

2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT



# 環境的責任のあるエネルギー

## より環境に配慮したエネルギー 及び電力を適切に使用

私たちのカーボンフットプリントの大半は、素材加工や製造、船や飛行機、電車、トラックによる輸送によるものです。私たちはこれらの全ての過程で使用されるエネルギーを見直し、減らす必要があります。

### 2025年の目標

- オフィスや店舗：自社が所有・契約・運営する施設で100%再生可能エネルギーを使用
- 製造：T1 (Tier1=主要) 工場では100%再生可能エネルギーを使用
- 輸送：海上運送を95%以上で維持する
- 洗濯：アパレル製品の低温洗濯と自然乾燥をお客様に促す

### 2021年の進捗

環境的責任のあるエネルギー使用によるカーボンフットプリント削減は、目標値の-1.21kgCO<sub>2</sub>eに対して、1.19kgCO<sub>2</sub>e、なんと98%の進捗率でした。



**達成事項：****海上輸送を増加**

オールバーズは2021年に海上輸送率84%を達成し、2020年に比べて80%向上しました。

**パートナー達も改善を進めています**

世界中にいる私たちの生産パートナーもそれぞれの施設にソーラー設備を整える準備を進めています。同時に、ベトナムとアメリカでの生産において再生型エネルギークレジット(REC)を購入しています。

**主要課題：****光熱費用を賄っているのはサプライヤー達**

オールバーズは小さな企業であるため、オフィス機能では多くのエネルギーを要さず、実際に必要となるエネルギーの多くは世界各地の生産拠点で使用されます。その生産拠点は、オールバーズが所有している工場ではなく、取引先が所有している工場です。つまり私たちの消費するエネルギーの全体量はほとんどサプライヤーが必要とするものなのです。現在最も重要な手段はカーボンオフセットと似た、再生型エネルギークレジット(REC)を取得することです。最適な解決法ではありませんが、現段階において効果的な手段になります。

**ユーザーの製品の扱い方の把握**

もう一つの課題はお客様による、製品の洗濯時のエネルギー使用量についての理解です。特に製品の洗い方と乾かし方がエネルギーの使用量を大きく左右します。製品が購入されてからの取り扱いを完全に把握することはできません。しかし環境に対する負荷を軽減するため、お客様に対して最適な扱い方を伝える責任があると考えています。



# Everything's connected.

## オールバーズの基本理念

2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT

# 全てつながっている

## 気候変動は 人類の未来を左右する問題です。

全てにおいて生半可な結果を求めるのではなく、特定の課題をしっかりと解決することを私たちは選びます。そのためには優先事項と目的をはっきりさせることが重要です。オールバーズの取り組みの軸は気候変動の逆転ですが、ビジネスに関わる全ての面において私たちは責任を持たなくてはなりません。その一つの方法がB Corpとしての立場を保ち続けることです。加えて5つの基本理念を明確化しました：公正な労働、水、化学、動物福祉、そして透明性です。これらのポイントを徹底することが気候変動に対する私たちの目標を手助けしてくれるでしょう。



**達成事項：****社会的基準の優先**

原材料の適切な調達に関する監査フレームワークを更新し、T1生産者における透明性とデータ収集を向上しました。さらにT1生産者における労働者の100%に対して研修を行いました。

**環境基準も優先**

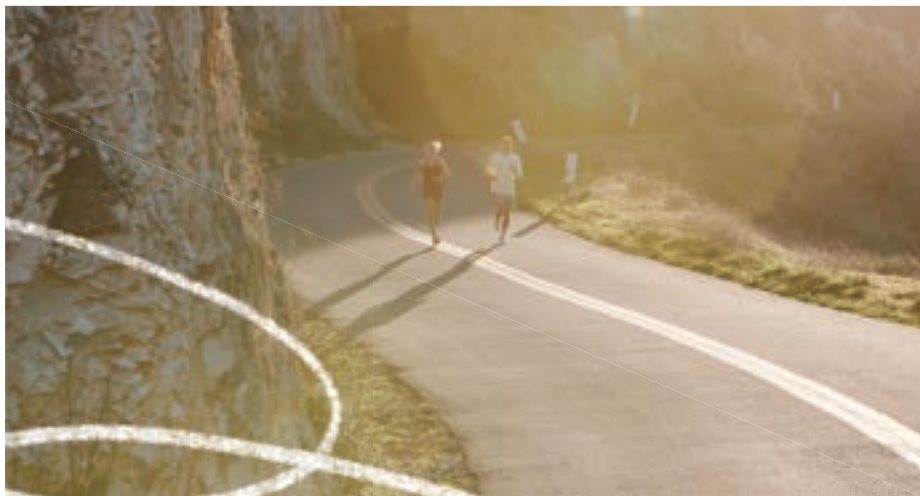
68%のパートナーが2020年の施設環境モジュール (FEM) を完了し、2021年にはT1生産者において99%まで完了します。

**主要課題：****サプライチェーンの完全なトレーサビリティ**

オールバーズのサプライチェーンは比較的コンパクトで、素材調達を農事業者から行うことを優先していますが、全過程においての情報把握は依然として課題があります。

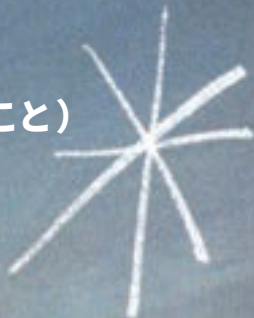
**小さな企業の大きな変化**

例えば、他企業と生産パートナーシップを結ぶなど、私たちのような小さな企業でも生み出せる、大きな変化を模索しています。



# オールバーズは 「ゼロ」を 目指します

(でも、達成できなかったこと)



2021  
SUSTAINABILITY  
REPORT

# オールバーズは「ゼロ」を目指します。

(でも、達成できなかったこと)

失敗を強調することは、  
成功を祝うことと同じくらい重要です。

2021年は製品毎のカーボンフットプリントを大幅に削減することができましたが、総排出量については別問題です。

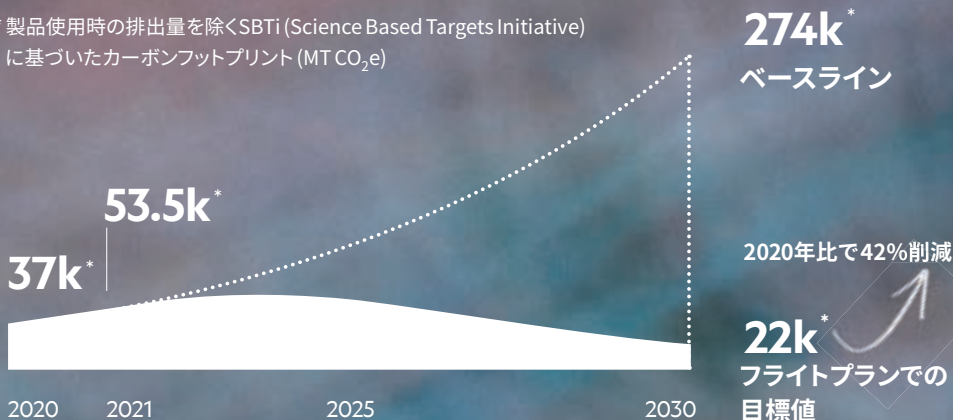
一般的に、ビジネスの成長に伴い排出量も増加します。私たちは初期の成長段階にあるため、確実に排出量が増加します。

下図の点線は、事業成長に伴う将来のカーボン総排出量を示しており、相当な速度で排出量が増えることが予想されます。

事業成長に伴う排出量を抑えながら、下図の白線が示す通り、2030年には2020年の42%以下の排出量に削減することを目指しています。

目標達成のためには、真剣に問題に向き合い続け、試行錯誤を重ね、脱炭素に向けた企業努力を継続する必要があります。

\* 製品使用時の排出量を除くSBTi (Science Based Targets Initiative) に基づいたカーボンフットプリント (MT CO<sub>2</sub>e)



2021年  
サステナビリティレポート

# Allbirds 2021 Sustainability Report



2022年10月7日 初版